



# 生瀬

校訓：正義 博愛 勤勉

令和5年12月1日 第9号

大子町立生瀬中学校

文責：校長 山本 一典

大子町内大野2963番地1 TEL.76-0006

HP <http://www.daigo.ed.jp/namase-cyu/>

## 昇降口のボランティア清掃

2023年も最後の月となりました。これまで3年生が自主的に行ってきた昇降口のボランティア清掃を、2年生が引き継ぎ、早速行動に移していました。誰かのために、みんなのためにと少し早めに登校し、昇降口とその周辺の清掃をきれいにしてくれています。また、後期の生徒会・委員会活動も動き出し、生瀬中のよい伝統が生徒自らの手で着々と引き継がれています。



## 生瀬中でなければできない教育の推進



11月20日(月) 爽やかな秋空の下、1年生が校外学習で大子町を電動自転車で颯爽と走り抜けました。りんご園、DAIGO SAUNA、大子森林事務所に立ち寄り、地域の自然環境について理解を深めました。また、地域の人々との触れ合いを通して、改めて大子町のよさや自然のすばらしさを感じ取っていたようです。



11月10日(金) 筑波大学の留学生が来校し、1・2年生合同の英語の授業で、交流学习を行いました。留学生と自己紹介したり、留学生の国のプレゼンテーションを聞き、質問したりするなど、楽しく交流しました。交流を通して、国際感覚が高まり、もっと英語を話したい、英語を学びたいと思う気持ちを強くしました。

## 生瀬富士俳句会 11月優秀賞の紹介

【校長賞】

「雪の上 ギラギラ輝く 冬林檎」

3年 黒田 万偉歌さん

講評：雪の色の「白」と林檎の色「赤」の鮮やかな色彩が目の前に浮かびます。それでいて「ギラギラ輝く」が雪の氷や冬の透明感を感じさせる句となりました。

【国語主任賞】

「見上げるは 動きを止めた 白き滝」

2年 菊池 雅翔さん

講評：厳冬によって凍り付いた滝を目の前にして、厳かな空気や氷瀑の迫力が伝わってきます。

「ヌクヌクと ひざ上で眠る 炬燵猫」

1年 鈴木 茉生さん

講評：外は寒くとも、あたたかい家の中でこたつでぬくぬくとする人間と猫の幸せな一時が表現されています。